

明けまして おめでとうございます



“息子の糖尿病はどないですか、あれはちゃんとせーへん子やからよろしゅうお頼み申します”と、あるお母様から頼まれました。どんな出来の悪い息子かと言いますと、公務員としてみんなから信頼される幹部として定年まで勤め上げ、定年後もまた重要な役職について仕事をされておられる方です。母 90 歳、息子 64 歳、ちゃんとせーへん子の HbA1c は 6.8% です。いくつになっても母親の子への思いは変わらないもののようです。子の親への思いも同じくらいでしょうか。

高齢者の在宅医療、在宅介護が推進される中で最近ちょっと気になっていることがあります。それは高齢者に対して制度だけでなく生き方まで誘導されているのではないかと感じる場合があります。 “人間いかに生きて、いかに死ぬか” メディアでも人間の死に方が普通のテーマになっていて、多くの人はきれいに死にたいと思っていますと想像できます。

人間としての尊厳を保つという言葉のもとに、高齢者が食べられなくなった時に、“胃瘻をしてまで生きることを本人は望んでいるでしょうか。”と問いかけがされます。“これまで頑張ってきたんだから、もう頑張らなくてもいいのではないですか、静かに看取ってあげましょう。”そんな言葉が家族にかけられたりもします。家族の思いはいろいろです、複雑です。理性と感情とそして現実が入り乱れます。しんどくないのなら一日でも永くいて欲しいと思っています、もっともらしい意見や答えを先に言われるとそれ以外の選択が取りにくくなります。高齢者が生きていく中で、積極的治療は言うまでもなく、医療を受けることそのものも否定されようとしているように感じる場合があります。もちろん私自身も本人、家族にとってその方が良いと思うこともあります、これはそれぞれの人としての生き方の問題です、決めつけたり誘導するものではありません。

これからの社会の中で高齢者が粗末に扱われる、そんなことがあってはなりません。日本の財政において医療、介護の占める割合は非常に大きいものがあり、それには少子高齢化が大きく関わっていることは言うまでもありませんが、そのことと高齢者がきっちりと生きることとは全く別の問題です。

私たちの三木山陽病院、サンスマイル三木において医療、介護に関わるものは、目の前の患者さん、利用者さん一人一人を大事にしていきたいと思っています。そしてみんなが幸せな気持ちになれるお手伝いができたらと思っています。
今年もよろしくお願い致します。

看護部長室

昨年もいろいろと変化に富んだ 1 年でした。ばたばたしながらも最終的には、何とかなるようにはなりました。
ですが、いつもそのようになるとは限りません。
今年は目的をしっかり見据え、速やかに計画を立て、皆を巻き込み、結果オーライにならないようにしたいと思っています。
自分自身も含めて皆が成長したという実感が得られるよう目指していきたいと思っています。
教育、安全、感染、人の確保、そして皆が健康で笑顔で仕事ができるよう、頑張ります。



外来



昨年は、10 月 15 日から新たに第 2 診察室を開設しました。
時を同じくして、泌尿器科の新設もありました。外来が広がることで動線が長くなり、患者さまにはご迷惑をおかけしています。スタッフ一同、少しでも安心して患者さまに受診していただけるように努力して参りますので、ご協力のほどよろしくお願いします。

2 階病棟

2 階病棟は平成 26 年 10 月より 52 床の一般病床の内、26 床を『地域包括ケア病床』として新たなスタートをきりました。

新たに設置された『地域包括ケア病床』では、急性期での治療を終えてから、新たに入院期間を設け、在宅や施設などにむけてのリハビリテーションや退院にむけての支援をさせていただきます。

皆さまが安心して笑顔で退院していただけるよう、チーム一丸となって頑張ります。



3 階病棟

3 階病棟は療養病棟なので、長期で寝たきりの患者さまが殆んどです。

そんな患者さまやご家族にとって私達スタッフがモットーとしている『常に寄り添い、温かいケア』を提供できたらいつも思います。

そんな中で四季折々の雰囲気を出し、病室の患者さまに少しでも味わって頂き、癒しの空間をフロアに季節ごとの花・動物、行事などの飾り付けを行ったり、年間イベントのひな祭り・七夕・敬老会・クリスマス会には、ボランティアの方の協力を得て催しを行い、しばしの「和み」の時間を設けています。去年は、お琴・フラダンスが披露され患者さまも笑顔で口ずさんだりされていました。

今年も患者さまに癒しの時間を提供出来る様に頑張ります。



4 階病棟



明けましておめでとうございます。

一年はあっという間で平成 27 年を迎えました。

本年も、宜しくお願いします。

4 階病棟は、障害者加算病棟です。長期入院を余儀なくされている方もいらっしゃいますが、一方で手術や検査等の入院もどんどん受け入れています。スタッフ全員で同じ方向を向き、山陽病院に入院して良かったと言っていただけのように、他職種と連携をとりながら、看護、介護に取り組んでいきたいと思っています。

5 階病棟

開設より、19 年目の年、5 階病棟は昨年 10 月より全病床 45 床を DPC 対象とし稼働し始めました。

最初は急性期の受け入れのベッド数が多くなり、スタッフ間での戸惑いもありましたが、スタッフのプロ意識に救われ、何とか一年を過ごすことができました。

今年度は、より一層のスタッフのスキルアップを目指し、急性期病棟としてマルチに対応が出来るように関連部署と連携を図り、昼夜を問わず受け入れが出来るようにベッド調整に努めて行きたいと考えています。



オペ室

手術室では、外科・整形・眼科の手術を行っています。各科さまざまな特色はありますが、急を要する手術から慢性期疾患の手術まで幅広く対応しています。年々、全身麻酔による手術も増加しさらに手術の種類も増えています。これからも患者さまのニーズに合った心のこもった手術室を目指し頑張っていきます。



内視鏡センター



現在、内視鏡センターでは個性豊かでホットなメンバー6人で頑張っています。

9月から少人数ですが内視鏡センターで安静に出来るように配置換えをしました。検査前から検査後まで患者さまに安全・安楽にカメラを受けていただけるようにこれからも全員で取り組んでいきます。

透析センター

入院及び外来維持透析患者さまのニーズに応えるべく安全で快適な透析医療を目指しています。今年度は、スタッフ全員で手作りした、患者さま向けの“特製パンフレット”を用いて患者さま、ご家族さまに導入期・維持期における透析療法及び合併症についてのお話や、栄養士による栄養相談を行いながら当院でしかできない、当院だからこそできる医療、看護の提供を行っています。



臨床検査科



私たち臨床検査科は、患者さまよりご提出いただいた検体を分析しています。得られた結果は診療を行うためにはとても大切な役割を担っています。ドラマで言うと脇役ですね。しかし、脇役の質がドラマの良し悪しを決めているのです。名脇役を目指し日々頑張っています。

放射線科

放射線科ではレントゲン撮影、CT、Angio、骨密度測定、MRI等、多種多彩な機器を使って人体の内部を画像化しています。検査だけではなくIVR（Interventional Radiology 和名：画像下治療）にも係っております。新しくなっていく機器、新しく出てくる検査法にも対応できるように勉強会等にも積極的に参加しています。大きな機械があって怖い、暗いというイメージを払拭できるよう笑顔で暖かな対応を心掛けています。受付の花、以外はむさ苦しい面々が多いですが・・・



薬剤部



皆さまはご存知でしょうか。病院の中には薬剤師がいます。薬剤師は、処方箋をもとに調剤し、患者さまに薬の説明を行っています。また、入院時に患者さまが持参された薬を点検し、重複していないかなどを確認しています。そのため、入院時点で服用している薬は持ってきて頂きたいと考えています。これまで以上に患者さまに安心して安全に服用して頂けるように、薬剤師として日々努力していきます。

栄養科

栄養科では、現在5名の管理栄養士が所属し、外来受付前の栄養相談室にいます。院内の食事に関すること以外に、外来と入院の栄養指導および糖尿病教室、褥瘡管理、NST、緩和ケアなどの医療チームにも所属し、栄養管理を行っています。近年の医療において栄養管理は重要視されています。新しい知識を取り入れつつ頑張っていきたいと思います。



総合支援相談室



新年あけましておめでとうございます。私達は「総合支援相談室」の相談員です。「相談員って何をする人？」私達は社会福祉の立場から患者さまをお手伝いします。ご自宅で… 気になること、心配なこと、誰に相談したらいいかわからない、そんな時はまずお気軽に声をかけてください。場所は1階受付の向かいです。今年も皆様に良い年でありますように。

リハビリテーション科

PT・OT・ST・リハ助手合わせて総勢 35 名の大所帯となりました。いきなり各部門の抱負です。

PT：「生活を営む上での土台となる基本動作改善の最速を目指します。スピードアップ！」

OT：「密着型OT。病棟スタッフと連携したパワーで日常生活動作や心の回復に取り組み、患者さまの笑顔を咲かせたい！」

ST：「“口から食べること”が難しくなった方が、誤嚥せずに再び食べる喜びを得て頂けるように一層尽力します！」

患者さまの生活・人生にそっと寄り添い、その方らしさを引き出せる関わりを重ねていきます。



医事課



当院を受診される患者さまの数は、年々増えています。診療科目も増えており、患者さまからのご要望やご意見も様々です。そのなかでも病院に来られた、入院された患者さま1人1人に対し、優しく気配りが行き届いた接遇を目指して取り組んでいます。

保険制度も目まぐるしく変化しています。

保険制度に関する深い理解はもちろんですが、患者さまへのご説明や国や保険者への情報提供にも柔軟にそして正確に対応できるよう、研鑽を積み重ねていかなければいけないと考えています。

総務課

総務課では、総勢 10 名の一人ひとりが分担して「労務・財務」の管理業務や医療物品・リネン関連・事務物品等の調達・管理、病院設備の維持管理 etc…と、診療以外の様々な業務を行っています。

患者さま・家族の方々により良い空間を提供出来るよう、また職員一人ひとりが働きやすい環境づくりに努めてまいります。



保育所

園では、毎年ベランダで夏野菜（トマト・ピーマンなど）を育て、みんなで美味しく食べたり、園外では、他部署の方々にも協力頂き、いちご狩り、さつまいも堀りなど、楽しい体験を通して食育に取り組んでいます。

院内の保育所として、保護者の方々が安心して子どもを預けられ、仕事に取り組めるよう職員一同努めていきたいと思います。



営繕・保清



私たち営繕は、院内運用部品の保守点検・修理、外来駐車場の誘導、透析患者さまの送迎、巡回バスの運行、病院樹木の管理、病院内外の清掃等々、多種に渡り様々な作業を行っています。

スタッフの連携も良くお互い協力し合い、全員が業務のレベルアップを目指し、笑顔の対応で日々業務に取り組んでいます。

医局

三木山陽病院の診療科は、これまでの内科・外科・整形外科・眼科に、平成 25 年度より皮膚科が加わり、平成 26 年度から泌尿器科が加わりました。すべての診療科の医師が所属する医局は、非常勤も合わせると 21 名が所属する部署となります。医師は外来のほか、検査や手術などを曜日別に担当しています。

病棟では入院患者さんを主治医制で担当しています。

皮膚科、泌尿器科と診療科が増えるにあたり、これまでの外来診察室では診察ブースが足りなくなり、昨年、外来に第 2 診察室ができました。診察室は離れても、しっかりと各科が連携して、「心と技術の調和した、優しく信頼される病院に」という病院理念を忘れずに、今年も日々の診療にあたっていきたいと思っています。





内科

なかむら

かすひろ

中村

和史医師をご紹介します！

昭和 63 年に広島大学医学部卒業。広島赤十字原爆病院にて内科研修の後、京都大学医系大学院博士課程入学。博士号取得後助手の職を得て、在職中休職にて米国コロラド州デンバーの National Jewish Medical Center にて免疫学の研究を行いました。その後帰国し、香川医科大学での勤務のち再度米し、ノースカロライナ大学医学部にてアメリカ生活を満喫しておりました。そんな中、昨夏突然父が脳出血で倒れ半身不随となりました。それ以降父の看病に毎日足繁く通う母の姿を目の当たりにし、そのことが自身の価値観を決定的に変える要因となりました。結果、高齢者の方々が多くまた地域に根差した医療に微力ながらも貢献させて頂けるそんな環境に身を置くべく、三木山陽病院でお世話になる決心をして家族をあちらに残したまま帰国しました。

家内と娘 2 人からなる 4 人の家族構成も現在は単身での不自由な生活を余儀なくされておりますが、週に一度の父の見舞いと、何よりも温かい患者さま、病院の皆さまに囲まれた理想の環境に身を置いて、日々の診療に取り組むことができます。

モットーとして病の理解はもちろん、患者さまから気軽に声をかけて頂けるそういう医師を目指し努力致しております。

どうぞ宜しくお願いいたします。



第 2 診察室のご案内

2014 年 11 月から診療科の増加に伴い診察室が新しく出来ました。元の作業療法室と言語聴覚室を改装し、『第 2 診察室』として、外科、皮膚科、泌尿器科の診察室となっています。

内科・整形外科診察の『第 1 診察室』とやや離れている所ですが、ご不明な場合はどうぞお気軽にスタッフにお声掛け下さい。



第 2 診察室の入口



第 2 診察室の待合



クリスマスコンサート

12 月 6 日（土）に今年もクリスマスコンサートを開催致しました。

TETSUYA&マイケルさん、LADYBUGさんには懐かしい名曲やクリスマスソングなどを披露していただきました。

美しいハーモニーとギターの素敵な音色に観客の皆さまや私たち職員も楽しくクリスマス気分を味わうことができました。



アクセス MAP



医療法人社団 朋優会

三木山陽病院

〒673-0501

三木市志染町吉田 1213-1

TEL 0794-85-3061

FAX 0794-85-3582

<http://www.mikisanyo-hp.com>

E-mail:info@mikisanyo-hp.com